

前回の防災通信 No. 23号では、住宅用火災報知器を紹介しました。
 今回の防災通信 No. 24号では、県ドリームハイツの8階、11階、14階建てのそれぞれの消火設備について紹介します。8階、11階、14階建ての消火設備の違いを住民の皆様にご覧いただき、火災時の適切な行動の一助として下さい。なお、データは管理組合から提供頂きました。

県ドリームハイツ内消火栓関連設置状況一覧表

		※1: 8階建	11階建	14階建
	号棟	6, 7, 10, 11, 15, 16, 19, 20, 21, 22, 23	5, 8, 9, 17, 18	12, 13, 14
※3: 連結送水管 (φ65mm) 公設消防用	送水口	各棟に2又は3か所有る	各棟に2又は3か所有る	各棟に1か所有る
	放水口	各階段に3か所有る	各階段に4か所有る	3~14階に有る
	ホース	無い	11階のみに有る	11~14階に有る
	放水銃	無い	11階のみに有る	11~14階に有る
※2: 屋内消火栓 (φ40mm) 住民の初期消火用	放水口	無い	11階のみに有る	各階段に有る
	ホース	無い	11階のみに有る	各階段に有る
	放水銃	無い	11階のみに有る	各階段に有る

- ※1 8階建の住棟は、公設消防の使う連結送水管のみです。初期消火は手持ちの消火器で行います。
- ※2 φ40mmの屋内消火栓は住民が初期消火に使用します。
 11階建、14階建の初期消火は近くの住民が屋内消火栓(φ40mm)で行ないます。
 11階建屋内消火栓(φ40mm)は11階にあります。
 14階建屋内消火栓(φ40mm)は各階にあります。
- ※3 φ65mmの屋内消火栓は公設消防到着時に連結送水管を使用して消防署員が消火にあたります。

詳細説明

1. **8階建**にはφ40mmとφ65mmのホース及び格納箱はありません。しかし、全棟にφ65mmのホースつなぎ口が各階段の3と4階、5と6階、7と8階の間の階段にあります。火災の際は1階屋外にあるφ65mm連結送水口にタンク車、または公道に設置されている消火栓から水を引き消防署員が持参したφ65mmホースを上記ホースのつなぎ口に差込み消火活動を行います。
全棟対象: φ65mm連結送水口の数はいずれも各棟によって異なりますが、1階屋外に1~3箇所設置されています。
2. **11階建**には各階段の11階に消火栓ボックスがあり、φ40mmとφ65mmのホースがいつでも使えるように放水銃と共にセットされています。
 また、φ65mmのホースつなぎ口は各階段の3と4階、5と6階、7と8階、9と10階の間の階段に消火栓ボックスがあります。φ65mmのホースつなぎ口から消防署員がホースをセットして消火活動を行います。

3. 14階建には各階に消火栓ボックスが有ります。

各階に消火栓ボックスにはφ40mmのホースがいつでも使えるように放水銃と共にセットされています。また、3～10階の各階の消火栓ボックスにはφ65mmのホースのつなぎ口は有りますがホースは有りません。消防署員がホースを持参しセットして消火活動を行います。

1階と2階の消火栓ボックスにはφ65mmのホースつなぎ口はありません。

11階～14階は各階の消火栓ボックスにφ65mmのホースと放水銃が準備されていて、消防署員がセットして消火活動を行います。

4. 給水について

1) φ40mmの給水系統

消火用配管への補給用給水タンク(容量1m³)が14号棟の屋上にあり、ここから11階と14階にあるφ40mmの配管に水を給水補給しています。14号棟屋上タンクに繋がっている給水配管はそれぞれの棟の屋上にあり、ここから各消火栓ボックスにも接続配管されています。

14号棟屋上にある給水タンクの水は、平常時にφ40mm配管に満たされている水が減少した場合の補充用として使用されます。火災時は管理棟裏地下埋設タンクを通じて消火用の水が供給されます。消火用水は管理棟北側通路に埋設されている6m³タンクより11階建、14階建の各棟に管理棟にある消火ポンプで送られます。

2) φ65mmの給水系統

連結送水管を通して水が供給されます。給水管は各棟の1階屋外から屋上に揚げられ、そこから配管によって各階段に繋がっています。

ただし、乾式方式のため平常時には配管内は空です。

5. 屋内消火栓(φ40mm)の使い方(消火栓ボックスは11階建の11階と14階建の全ての階にあります)



Aさん、Bさん2人以上で操作を行います(左図)

- ① Aさんが15mのホースを伸ばして火元に向けます。
- ② Bさんが左図のボタンを押して、次にバルブを左に回してあけます。
- ③ Aさんの持っている放水銃から水が出ます。この時、放水銃が振られない様に注意しましょう。

6. 各家庭の玄関にある非常ベルの使い方と解除方法(各階の水道、ガスメータボックス扉に貼ってあります)



① 火災報知器のベルではありません。宅内で「火災」や「異常」があった時に押します。

② 宅内ベルの止め方は押した場所を引く(左図の②写真による)

③ メータボックスを開けてスイッチを切る(左図の③写真による)

異常が解決し、処置がおえたら階段の方に事情を説明しましょう。非常ベルは当該階段のみで鳴り、管理組合には届きません。